

太子町立石海小学校で防災授業を実施！！

～風水害や身を守るための行動の重要性を学ぶ～

－ 姫路河川国道事務所 －

自然災害から命を守るためには、一人一人が災害時に適切な避難行動をとることが出来る能力を養う必要があります。幼少期からの防災教育を進めることが、自然災害に関する「心構え」と「知識」を備えた個人を育成することにつながり、子供から家庭、さらには地域へと防災知識が浸透していくことが期待されることから、揖保川減災対策協議会では、太子町立石海小学校の協力により、小学5年生（3クラス）を対象とした防災授業を実施しました。

概要

対象河川：揖保川水系林田川

位置図



- 日時：平成29年11月16日（木） 9：40～12：20
- 場所：太子町立石海小学校
- 参加機関：太子町 企画政策課
太子町立石海小学校 校長、教諭3名
5年生 約130名
国土交通省 姫路河川国道事務所 3名



▲風水害について説明



▲風水害のクイズの様子



▲林田川が氾濫した場合の避難について考える様子



▲左記について考えた結果を発表

防災学習で学んだ感想

- ・ 避難勧告と避難指示（緊急）の違いが分かった。
- ・ 林田川の堤防が切れたり、洪水になると大変な事になると思った。
- ・ 早く避難できるように、普段から町役場から出される情報等には気をつけていたいと思う。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
姫路河川国道事務所 調査課
〒670-0947
姫路市北条1-250
TEL 079-282-8211

